



私立大学情報教育協会

全国大学 IT 活用教育方法研究発表会 優秀賞(私情協賞)

女子栄養大学短期大学部生理学研究室 教授 渋谷まさと



私立大学情報教育協会（私情協）が開催する全国大学 IT 活用教育方法研究発表会があり、医療系だけではなく、全分野から 95 件の応募がありました。3 段階の審査があり、このたび、優秀賞(私情協賞)を受賞することができました(「IT 活用教育方法研究」第 9 巻第 1 号 6-10 頁)。受賞対象は、これまでも何回か日誌にご紹介してきた「一步一步学ぶ医学生理学」(<http://physiology1.org>)です。

プロジェクトの狙いは、より効率よく、医学生理学の基礎知識を初学者が自学自習し知識を定着できる e-learning システムを開発することです。医療系の学校へ入学した時点での高校の生物に関する知識量には個人差が大きく、その差を補講などで補うことには限界があると思われます。また、problem-based learning (PBL) が次々に導入されており、低学年においても自学自習の時間が増えています。さらに、学生個人の選択にゆだねることができず、確実に伝授し定着させない限り医療人にはなり得ない(脊髄前根には運動性の神経線維がある/インスリンは血糖を低下する、など非常に多数の)基礎知識があります。すなわち、自学自習による基礎知識の「詰め込み」の必要性は年々増加していると思われます。本プロジェクトでは、基礎知識を可能な限り分かりやすく説明しています。酸素飽和曲線を説明するのに 10 のイラストがでできます。また、脊髄前根には A 運動性/B 感覚性の神経線維がある、のような、これ以上は

簡単にできないと思われる、「知識確認問題」が多数提示されています。e-learning の特性を利用し、無作為出題、自動採点などの機能もあります。某医学部 1 年生に 15 のテーマを自学自習してもらい、評価テストで 88% の学生が平均 90 点で合格し得たアウトカムが受賞理由のひとつでした。

現在、「一步一步学ぶ医学生理学」へのアクセスは月間 10 万 page view を最近 3 ヶ月、連続達成いたしました。今回の受賞をはじめ、このように認知されているのも、「一步一步学ぶ医学生理学」を提供している医学生理学教育シェアリンググループが「日本生理学会 special interest group」だからであり、今までも多くの生理学会会員の先生方にご指導いただいていたためであります。コーディネータとして心から御礼申し上げます。

これからも「一步一步学ぶ医学生理学」へのおますますのご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます！

略歴

- S56 東京慈恵会医科大学第二生理学教室学生班
- S59 東京慈恵会医科大学卒
- H05 昭和大学医学部第二生理学教室 講師
- H12 医学生理学教育シェアリンググループコーディネータ
- H18 女子栄養大学短期大学部生理学研究室 教授